

議会だより

平成26年 7月臨時会・9月定例会版



秋麗（宝福寺仏殿）

©河合眞作さんの版画シリーズ④

主な内容

7月臨時市議会・9月定例市議会	2ページ
9月定例市議会一般質問	4ページ
市議会議員政治倫理条例を制定	11ページ
委員会活動報告	12ページ
委員会先進地視察・意見交換会	14ページ
議会フォーラム開催	16ページ

市庁舎玄関改修工事費を減額修正
市職員コンプライアンス
入札等監視委員会設置
条例を可決

7月22日、臨時市議会を開き、J R吉備線のあり方を検討する吉備線L R T化基本計画案の作成業務委託費用（450万円）を予算措置する一般会計補正予算（第3号）を賛成多数で可決しました。

9月定例会市議会

9月定例会市議会を9月1日から19日まで開きました。（審議結果は左ページのとおり）

また、請願1件、陳情2件の審査をしました。（下表のとおり）

総社市職員コンプライアンス条例

総社市職員の倫理意識の向上を目的に条例化（コンプライアンスⅡ法令遵守）するも

ので、

- 職員が業者等から金品を授受した場合等の報告書提出
- 職員の違反行為や業者などからの不当要求行為は、コンプライアンス外部委員会やコンプライアンス推進会議で調査
- 違反職員は昇給停止等処分などを明記しています。

総社市入札等監視委員会設置条例

市が行う入札・契約内容の透明化を目的に、第三者による委員会を設置する条例です。同委員会は、市の入札・契約の運用状況の報告を受けたり、同委員会が抽出した工事等の入札参加資格や随意契約の理由等の審議を行ったりします。

総社市議会議員政治倫理条例

議員の政治倫理に関する基

準や、違反時の審査請求手続等を明文化する条例で、議会運営委員会が提案、全会一致で可決しました。

（詳細は11ページを参照）

平成26年度一般会計補正予算（第4号）

小・中学校への防犯カメラ14台の設置費910万円、子どものおたふくかぜワクチン接種補助費600万円、不当要求対応のための電話録音装置75台分80万円、総社西公民館久代分館の移転新築工事に伴う増額分1700万円、昭和公民館の移転新築に伴う設計委託料3970万円などが主なものです。

市庁舎玄関改修費2500万円、外壁工事費5000万円（うち来年度分3000万円）は全額減額修正し、設計委託料200万円のみ原案どおり可決しました。

人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見

本市推薦の人権擁護委員の

請願・陳情の審査結果

件名(不採択の理由)	結果
「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」採択についての請願（既に国において法律が成立しており、地方議会で検討すべきではないと考えられるため。）	不採択
手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書	採 択
憲法解釈変更の閣議決定の撤回の意見書を提出するよう求める陳情（既に閣議決定をされており、憲法問題に対する解釈については、地方議会において判断すべきではないと考えられるため。）	不採択

任期が平成26年12月31日で満了することに伴い、候補者として奥村芳文氏（真壁）、丸山光雄氏（山田）を委員として推薦することに同意しました。

任期は平成27年1月1日から平成29年12月31日までです。

名誉市民に

本行節夫元市長決定に同意市長として5期20年の永きにわたり市勢発展に尽力された故本行節夫氏（見延）を名誉市民に決定することに同意しました。

平成26年7月臨時・9月定例会総社市議会 付議事件採決一覧表

番 号	付 議 事 件	結 果
議案第50号	平成26年度総社市一般会計補正予算（第3号）	原 案 可 決
報 告 第 4 号	平成25年度総社市健全化判断比率及び資金不足比率について	報告を受けた
報 告 第 5 号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※市道の管理瑕疵に係る和解及び損害を賠償すること	報告を受けた
報 告 第 6 号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※庁用自動車の事故に係る和解及び損害を賠償すること	報告を受けた
議案第51号	総社市職員コンプライアンス条例の制定について	原 案 可 決
議案第52号	総社市入札等監視委員会設置条例の制定について	原 案 可 決
議案第53号	総社市保育の必要性の認定基準に関する条例の制定について	原 案 可 決
議案第54号	総社市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原 案 可 決
議案第55号	総社市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原 案 可 決
議案第56号	総社市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原 案 可 決
議案第57号	総社市放課後児童クラブ施設条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第58号	総社市国民宿舍条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第59号	平成26年度総社市一般会計補正予算（第4号）	修 正 議 決
議案第60号	平成26年度総社市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原 案 可 決
議案第61号	平成26年度総社市国民宿舍事業費特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
認 定 第 1 号	平成25年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 2 号	平成25年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 3 号	平成25年度総社市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 4 号	平成25年度総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 5 号	平成25年度総社市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 6 号	平成25年度総社市公共下水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 7 号	平成25年度総社市国民宿舍事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 8 号	平成25年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認 定 第 9 号	平成25年度総社市水道事業会計決算認定について	認 定
認 定 第 10 号	平成25年度総社市工業用水道事業会計決算認定について	認 定
意見第1号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推 薦 に 同 意
意見第2号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	推 薦 に 同 意
議案乙第4号	総社市議会議員政治倫理条例の制定について	原 案 可 決
議案乙第5号	「手話言語法」制定を求める意見書について	原 案 可 決
同 意 第 7 号	名誉市民の決定に関する同意を求めることについて	同 意
議案第62号	平成26年度総社市一般会計補正予算（第5号）	原 案 可 決

平成26年7月臨時・9月定例会総社市議会で賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

議案等	議員名	菅野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男	小西義己	難波正吾	小西利一	津神謙太郎	村木理英	頓宮美津子	赤澤康宏	片岡茂夫	堀見稔章	名木田正昭	加藤保博	笠原武士	根馬和子	荒木勝美	山口久子	大熊公平	西森頼夫	議決結果
議案第50号	平成26年度総社市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
議案第51号	総社市職員コンプライアンス条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第52号	総社市入札等監視委員会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
認定第1号	平成25年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
請願第3号	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」採択についての請願	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択
陳情第4号	憲法解釈変更の閣議決定の撤回の意見書を提出するよう求める陳情	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	不採択

〔凡例〕○：賛成 ×：賛成でない 退：退席 欠：欠席
・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 ・剣持堅吾議員は、議長のため採決には加わりません。

11月定例会市議会の予定

日 時	内 容
11月28日(金)	開会
12月 3日(水)	一般質問
12月 4日(木)	一般質問
12月 5日(金)	一般質問・質疑
12月 8日(月)	委員会
12月 9日(火)	委員会
12月10日(水)	委員会
12月11日(木)	委員会
12月16日(火)	閉会

問い合わせ 議会事務局 Tel.92-8332

議
長
交
際
費
執
行
状
況

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。各月の執行状況については、議会事務局及び市議会のホームページ（<http://www.gikai.city.soja.okayama.jp/>）でご覧になれます。

【平成 26 年 7 ～ 9 月分】

支出区分	支払年月日	支出金額	支出先等
お 供	7/21	10,000	元総社市長香典
	7/21	10,000	元総社市長生花
	8/6	5,000	前総社市議会議長の実父香典
土産等	7/5	5,880	行政視察先（総務文教委員会）
	7/22	12,000	行政視察先（厚生委員会）
	9/28	5,068	行政視察先（産業水道委員会）
募金	7/23	5,000	2014 年原水爆禁止国民平和大行進
合 計	—	52,948	—
4 月からの累計	—	128,351	—



《小川 進一》

総社に中高一貫校を誘致したい

問 市長は必要と思うか。

答 ハードルは高いと思う。市内高校2校の普通科の定員割れはさみしい。優秀者の市外流失を食い止めたい。特異性のある学校づくりを県教委に要望する。(以下市長)

問 誘致にはどのような活動が必要か。

答 市民的な盛り上がりとして、人口動態をよく見ながら推進したい。

問 人材の地産地消の必要性をどのように考えるか。

答 総社ファンを作る。心豊かで、優しい気持ちの子は帰ってくる。勉強一辺倒ではだめだ。

問 企業誘致は数社あるが、採用正社員の数はどうか。

答 採用正社員の数は把握できていない。パート採用の数が非常に多い。

問 若者の定住策はどうか。

答 企業誘致に力を入れる。

英語力の向上

問 英語力の向上施策をどのように考えているか。

答 英語の学力は、全国平均を上回っている。幼・小・中の一貫教育を進める。(以下教育長)

問 英語特区と特区外の中学の学力差はあるか。

答 特にはない。

問 全市に英語特区と同等の教育はできるか。

答 外国人の指導員が12名いる。特区では、授業が特区外の中学の倍ぐらいある。徐々に差をなくして、英語の好きな子を増やしていきたい。



《塩見 禎章》

新市まちづくり計画

問 取組状況と実績はどうか。

答 進行中のものも含め、80%は実現に向け動いている。(以下市長)

問 計画に対し、今後の見通しはどうか。

答 残りの20%は財政が根底にある。選択と集中で緊急性を要するものか、考え直す時期が来ている。

市長、教育長の政治姿勢

問 一般質問の答弁で検討事項と答えたことについて、次回定例会にその検討結果を行政報告してはどうか。

答 検討結果と進捗状況を報告する。(市長・教育長)

問 前向きな答弁での措置内



《小西 義巳》

防災対策

問 高梁川河川敷の樹木伐採について、樹木が流水の妨げになり、景観を損なっている。その後の進捗状況はどうか。

答 国土交通省の河川局長に伐採を要請し、定期的に予算化されている。(以下市長)

問 サントピア岡山総社の入口付近の排水対策はどのようなになっているのか。また、高梁川へ直接放流はできないか。

答 高梁側への直接放流は、工法的にも予算的にも現時点では無理である。上原井領用水(富原排水機場)のポンプを2基から4基へ増設することとで対処し、今後の状況を見守りたい。

西部地区の開発

問 高梁川新架橋の完成に伴い、西部地区の開発と企業誘致をどのように考えているか。

答 川西地区の抜本的な用途区域変更の拡大を国に申請していく。そして、企業誘致活動を進めていきたい。

問 企業誘致が進む中、雇用が拡大している。従業員不足と子育て世代のパート需要をどのように考えているのか。

答 子育て世代の就労を促すため、学童保育での小学校空き教室の利用促進や保育園の定員増を検討している。



樹木伐採が進められている高梁川



《根馬 和子》

ふるさと納税はクレジット対応に改善

問 総社市へふるさと納税をしている人数と金額は、どれくらいか。

答 平成25年度は111人で、327万7000円であった。

問 納付のお礼は何か。(以下市長)

答 新米と桃などだが、果物は季節限定である。

問 納付人数も金額も少なく、お礼も貧弱だ。地産品や特産品等でもっと選択肢を多くして地域をPRし、活性化するべきである。納付の方法も、ホームページでクレジットカード対応にして、多くの納付がされるよう改善してはどうか。

容の報告をしてはどうか。

答 質問に対し、答弁で検討するとか、やるとか言った事項全てを提示したい。(市長)

消防団員の報酬

問 県下各市の報酬の状況はどうか。

答 本部長以上は県下の平均値より高い。(以下消防長)

問 本市の団員報酬の状況はどうか。

答 長年の懸案事項である。平成25年度に本部長以上の引き上げを行った。

問 報酬の見直しについて、どのように考えるか。

答 県下の平均値までにした。

答 報酬を上げる。(市長)

清音村誌の編さん

問 編さんの進捗状況はどうか。

答 年表を作っている。資料等を集めることに着手する。(市長)

答 クレジットカード対応を行う。また、お礼の品物の種類を増やす。アナログ的で進歩のない対応を反省し、今後はしっかり取り組んで多くの人に納付してもらえようよう改革する。

自主防災組織率に応じ一括交付金を上乗せ

問 広島県の土砂災害の検証をどのようにするか。

答 住民の身の安全を確保するために、空振りをおそれない早めの避難勧告が必要である。

問 自主防災組織率45・6%を100%へ上げてはどうか。

答 来年度から組織率に応じ、一括交付金に上乗せを行う。

問 住宅に迫る危険な裏山・崖等はどのくらいあり、対応はどうか。

答 321箇所ある。新たなハザードマップも作成し、市民に説明していく。



《赤澤 康宏》

子育て強化とは

問 総社の宝である新生児に発達障がい児等が多い。「そうじゃ式早期一貫発達サポートシステム」の内容はどうか。

答 就学前4、5歳での団体生活で、馴染めないような子の保護者に伝えて、今後の相談や改善の手伝いや助言を行い、家庭の負担を軽減する。

(以下市長)

人口減少へ危機感

問 人口は若干増えてはいるが、将来の見通しと対応は。

答 2千人以上の減少が見込まれ、企業誘致に力を入れる。

安定財源の確保は

問 現在、誘致話は何社か。

対応できる土地があるのか。今後の誘致土地整備の考えと方針はどうか。

答 誘致話は6社あり、土地はない。都市計画マスタープランの見直し時期であるので、企業誘致出来そうな区域を拡大したい。

要支援者への今後の対応

問 介護保険法改正に伴い、要支援者への今後の対応はどうか。

答 暫定期間がある。現状のサービスから低下しないように考える。

問 介護保険施設の整備計画はどうか。

答 介護保険料が増えるが、待機者数分は必要だと思う。

問 前に質問した、障がい者に対応できる施設の考えはどうか。

答 NPO等の団体に行ってもらいたい。何が出来るか模索中である。

英語特区(昭和地区)に待望の通園通学バスが通る

問 他地域から昭和地区へ通園通学する児童を支援するため、送迎バスを運行する考えはないか。

答 来年4月から通園、通学のためのバスを運行する。少人数の幼稚園や小学校を統廃合するということは、したくない。昭和地区では、幼稚園2園、小学校2校、中学校1校を「5つ星学園」と名づけて連携の取れた教育を行い、一人でも多くの幼児、児童、生徒を集めようと努力している。しかしながら、JR美袋駅から約2キロ離れた維新幼稚園、維新小学校への通園、通学に、駅からの交通手段が



《山口 久子》

ないために英語教育特区が進展しないのは、良くない。そして、昭和地区への定住施策も、合わせて取り組んでいく。

(市長)



英語教育特区維新幼稚園(左)と維新小学校(右)での教育風景



《大熊 公平》

コンパクトシティにつながる施策には大きな懸念

問 JR吉備線のLRT化の推進が急に浮上したがなぜか。

答 国交省出身の大森岡山市長が誕生し、一気に話が進展し始め、今までのようにオプザバーの立場でいられなくなってきた。やるか、やらなにかはつきりさせる時期が来たためである。

(以下市長)

問 LRT化の推進はコンパクトシティの街づくりを目指すことなのか。周辺部の一層の過疎化が心配だがどうか。

答 今までどおり周辺部にも力を入れる。

問 倉敷市を中心とした高梁川流域連携に取り組むというがポリシーはどうか。



《三宅 啓介》

「図書館にエレベーターは必要」と強く訴える

問 図書館にエレベーターの設置はどうか。

答 設置は必要である。来年度の市制10周年記念で整備したいので市長と折衝する。

(以下教育長)

問 図書館の利用者を増やす工夫は。

答 月刊の『図書館だより』で新着図書を紹介しており、ホームページなどでもイベント案内などを行っている。

問 3階展示ホールを子ども向けスペースにできないか。

答 夏休みには子ども向け映画会、読み聞かせで使っている。高齢者にも使えるように、エレベーター設置と合わせて

答 来年度から本格化する。7市3町が市益の損得を超え、腹をくくり、ソフト政策への取組ができるかが、成功の重要な鍵となる。医療連携など重要なものも多くある。

問 防災減災対策は充分か。

答 広島市の大規模土砂災害もそうだが、100年に1度の150年に1度あるかないかの災害が全国で頻繁に起きている。災害はどこでも起きるものと考え、改めて対策を考える。

問 ハザードマップの点検が必要ではないか。

答 早急に見直しをする。

問 災害時要援護者支援への取組の現状はどうか

答 これから取り組んでいく。



広島市で発生した土砂災害

更に検討していく。

いつまでも愛される市民プールを残したい

問 近年の利用者数は。

答 今年は期間中5700名が利用、ピークは平成22年に1万2300人が利用した。年々、減ってきている。

問 施設の安全点検、老朽化対策は行っているか。

答 行っている。水のろ過機などが老朽化し、改修が必要と考えている。

問 利用促進の案内は行っているのか。

答 広報そうじゃなどで行っているが、今のままでは駄目だ。近々、関係者と利用促進の協議を行う。



子ども料金は50円～100円、大人料金は150円で利用可能な市民プール



《頼宮美津子》

ひとり親家庭の支援を充実

問 子どもの貧困が深刻化する中、ひとり親家庭の支援の充実が必要である。子育てブックの活用や配布方法にも工夫をするべきである。また、新たに病児保育や放課後児童クラブにも助成できないか。

答 市独自の支援も、既に2件実施している。まずは周知徹底に努めたい。(以下市長)

広域連携を積極的に推進

問 広域連携を大いに活用するべきだ。採択された計画は、女性職員の合同研修、公共施設の共有、災害防災対策など多岐に渡る。総社市の役割は大きいだろうか。

答 倉敷市のみに有利に終わることなく、市民のために言うべきことはしっかり言う。

移住者支援を加速してほしい

問 岡山県には被災地等からの移住者が増加している。総社は安全かつ水も豊富で、田舎暮らしを望む人へ自信を持って勧められる。ホームページの充実はもちろん、移住者が定着するようなサポート体制を構築するべきではないか。

答 ホームページを刷新する。考え方を根本的に変えて、定住化を促進したい。



移住者が求める古民家等



《西森頼夫》

官製談合事件の判決を受けて

問 官製談合の質問に市長は「またか」と思われるかもしれないが、6月議会の後、7月23日に裁判の判決があった。これを受けて、最大の問題は、どこにあったか改めてお聞きしたい。

答 今回の官製談合事件の最大の責任は私にあった。庁内の動きや業務について市長の私がよく見ていなかった。職員の動向が見えなかった。これは全て私の責任と反省している。(市長)

問 建設業者等指名審査委員会はどんな仕事をしているか。

答 指名競争入札や随意契約の業者指名選定を行っている。



《荒木勝美》

本市の将来像は

問 今後総社は、自治体としてどのようなスタンスでいくのか。合併ありきか、単独自治体として進むのか。

答 市民生活にとって行政サービスが届く人と人とのつながりを大切にするため、総社は単独自治体として進めていく。(以下市長)

交通戦略を提言、鉄道・LRT化・BRT

問 吉備線を電化することにより伯備線と連結し、岡山発総社経由岡山行きの路線を作ること利用アップを図れると思うがどうか。また、伯備線については、ターミナル駅である総社駅に、もっと多

くの特急電車を停車させることはできないか。利用率、まちのステータスともに向上するのではないか。

答 どちらもJRにお願いしたい。

問 吉備線をLRT化するかどうか、総社の対応はどうか。

答 LRT化のメリットとして、まちの形が変わっていく、変えていけるものである。もう一つは、高齢化が進んで車の運転ができなくなったとき、高齢者が簡単に移動する手段となる。

問 利用者を増やすには沿線の土地利用計画の見直しが必要と考えるが、どうか。

答 沿線は農業振興地域、農用地が多い。これを変えないとLRTは存続すら難しいと考える。

問 LRT化にこだわらず、BRT(バス高速輸送システム)の方法も考えてはどうか。

答 一つの案だと考える。



《難波正吾》

「脇が甘かった」とはどういうことか

問 談合事件の答弁に「私の脇が甘かった」とあるが、具体的にはどうか。

答 事件の第一の責任は私にあり、人間的、政治家としても成長しなければならぬ。職員を知らな過ぎた。名前すら知らない職員もいる。事件後、若手職員に秘書として帯同してもらい76人と対話、意見交換しコンプライアンス等を説いている。(以下市長)

問 政治活動、後援会活動での脇の甘さはなかったのか。

答 政党内ではないので、資金面では法律にのっとってやっている。

また、一般競争入札・指名競争入札に参加する業者の資格審査をしている。(副市長)

問 指名審査委員会は、総社市契約規則とその他の規程で事務の処理をすると定めてある。一方、入札の公正を害する行為は不当要求行為等対策規程に定めている。この規程に沿って委員会は審議したのか。

答 指名選定や資格審査は審議したが、不当要求は審議していない。(副市長)

問 法令遵守の条例や入札監視委員会の設置など次々と新しい施策を提案している。指名審査委員の審議の充実をすれば、官製談合は解決すると考える。条例をいくら作っても解決しないと考えるがどうか。

答 職員が法律を遵守し、きちんと対応すれば不当要求の再発はないと確信する。(市長)

コンプライアンスの徹底には厳罰化が必要か

問 事件の背景には、上司に相談できない、ゾーンで守れない職場環境がある。罰則強化で改善するのか。

答 事件が事件だけにけじめが必要である。コンプライアンスを上げ、作るけれど使わないで済む条例でありたい。

集団的自衛権についての見解はどうか

問 安倍内閣は憲法の解釈を変えて、集団的自衛権の行使を閣議決定した。見解はどうか。

答 良い質問で、絶対あるべきだと思う。閣議決定はアンフェア。国会で審議議決すべきだ。日中、日韓関係は外交努力が必要。戦後70年、その脱却を言っている所以对米関係もシビアになる。閣議決定には反対だ。



《萱野哲也》

図書館の利用者目線

問 市長や教育長をはじめ各担当部長・課長が、総社市の問題や課題提起として市民に読んでもらいたい本を図書館として薦めてはどうか。

答 難しい。(教育長)

問 図書館の公平性や中立性もあるが、政治離れや行政任せの現代において、行政側が市民に問題提起していくという観点から薦めてほしい。

答 公平性が保てない。(教育長)

問 乳幼児や発達障がいのある子どもの保護者が、周りの目を気にせずに図書館利用できるように、曜日・時間限定で、泣き声や騒ぎ声を大目に見てもらう時間を設定できないか。

いか。

答 時間制約はできないが、キッズルームを作る。

(教育長)

生きるチャンス
骨髄バンクドナー登録者
確保へ全力を

問 骨髄バンクドナー助成金の交付申請をした人はいるか。

答 いない。(市長)

問 この助成の目的にも「多くの人にドナー登録をしてもらい」とある。登録者確保への取組はどうか。

答 周知を基本に呼び掛けをしている。(保健福祉部長)

「骨髄提供者は、助成金の交付があるので、申請をしてください。」で終わるのではなく、登録者確保への取組を、より積極的に行ってほしい旨の要請をして一般質問を終えた。



骨髄バンクドナーカード



《高谷幸男》

通学路などへ防犯カメラ

問 安全・安心のため、より多くの場所へ防犯カメラを設置してはどうか。

答 市内18箇所へ設置したが、より多く設置したい。(以下市長)

安全・安心メールの配信

問 地域全体の不審者情報を市民で共有できないか。

答 保護者などへメール配信しているが、一般の人にも配信したい。

大型公園を検討

問 安全に楽しく集える公園の設置が必要ではないか。

答 今後、東部地区の発展が期待され、総合計画の中で設

置を検討したい。

第2次総社市総合計画は

問 平成28年度から平成37年度の10年間を目指した計画の基本方針はどうか。

答 総じて難しいが、セカンドステージへ向けての計画で福祉事業を中心に策定する。

小中学校の
建て替えを検討

問 義務教育施設の統廃合の指針が国から出されたが、今後の具体的な計画はどうか。

答 ①総社小は建て替えを行いたい。②常盤小は分離が必要である。③東中、西中は分離を視野に検討する。



常盤公園の大型遊具



《岡崎亨一》

ロタウイルスワクチン
接種の公費助成

問 ロタウイルスワクチン接種の公費助成はできるか。

答 医療費抑制にはワクチンが有効だと認識しているが、子どもだけというわけにはいかないと思う。市民と理解を合い、また、吉備医師会ともワクチン代の話し合いをしなければならぬと思っている。10月から水痘・風疹・おたふく風邪のワクチン接種助成を県下初で行う。これから一つ一つ考えていきたい。

(以下市長)

子育て王国そうじゃの
認定子ども園の将来像

問 家庭的保育・認定子ども

園の先進事例を見て、総社市における認定子ども園の将来像をどう考えるか。

答 来年4月から清音幼児園を認定子ども園としてスタートさせる。幼稚園、保育園双方と制度等を調整し、一体化することにより、将来的に財政の儉約にも繋げたい。総社保育所と井尻野幼稚園の統合も考えたい。また、幼稚園の空き教室も小規模保育に活用したい。保育園側からの依頼があれば幼稚園の無償譲渡も考える。

点字ブロックがない歩道
の問題

問 市役所通りの総社東中前の点字ブロックは、いつ敷かれるのか。

答 歩道が段差で歩きにくいことは認識している。段差を解消する際には、点字ブロックを必ず敷くと約束する。

議員の倫理基準を明文化

9月定例会 審査請求や審査会設置手続も規定

総社市議会議員政治倫理条例が9月19日、公布施行されました。(2ページに関連)

全国で、政務活動費の使途の問題、議場での不適切発言等が報道されています。議員は市民の付託を受けている限り、自らの倫理観を問われるのは当然のことです。

本市議会では、市政が市民の厳粛な信託によるものであることを認識し、その信託に応えるため、市議会議員の政治倫理に関する規律の基本となる事項を定め、意識の向上と確立に努めます。

《政治倫理基準(抜粋)》

- ・その地位を利用して、いかなる金品も授受しない。
- ・市等が行う許可、認可又は請負その他の契約に関し、個人又は特定の企業、団体のために有利な取り計らいをしない。

い。

- ・親族若しくは議員自らが役員をしている企業等の契約に関し、一切の関与をしない。
- ・市民の代表として、その品位と名誉を損なうような行為を慎み、その職務に関し不正の疑惑をもたれるおそれのある一切の行為をしない。

議員がこの条例に違反していると認められるときは、有権者は、有権者数の100分の1以上の、議員は議員定数の8分の1以上の連署をもって議長に対し審査請求することができます。議長は、議員代表による審査会の審査を経て、違反したと認められる議員に勧告や警告等の措置を講じます。

※ 総社市議会議員政治倫理条例全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

総務文教委員会

《9月定例会》

当委員会では審査した案件は、議案3件であり、修正可決した平成26年度一般会計補正予算(第4号)を除き、原案どおり可決しました。(請願及び陳情各1件は不採択)

主な内容は次のとおりです。

◎総社市職員コンプライアンス条例の制定について(議案第51号)

職員の法令遵守及び倫理意識の向上のための環境及び体制を整備し、公正な職務の遂行を確保して透明で市民に信頼される市政を確立するため、必要な事項を定めるものです。

◎総社市入札等監視委員会設置条例の制定について(議案第52号)

入札や契約の過程、契約内容を明らかにする第三者委員会を設置するために必要な事項を定めるものです。

◎平成26年度総社市一般会計

補正予算(第4号)(議案第59号)

《補正予算の主な内容》

- ・市役所本庁舎玄関及び外壁改修に係る経費、市内小中学校へ防犯カメラを設置する経費、昭和公民館及び久代分館移転新築整備経費

合併10年の節目で、本庁舎玄関及び外壁改修工事が計上されているが、なぜ当初予算でなく今回の補正予算に計上するのか。

以前から懸案事項のひとつであり、機会があれば改修したいと考えていた。平成25年度の決算状況等を勘案し補正予算に計上した。

合併10年記念であれば、他の事業へ予算を使うことも考えられる。この事業を補正予算に計上した背景はどうか。

本庁舎の耐震補強には約20億円、新庁舎建設には約30億円がかかる。どちらにしてもすぐには着手できない。本庁舎玄関改修は、市民にご不

便をかけないためだ。

◎以上のような質疑、答弁がなされた後、委員から「時間をかけて内容を十分検討する必要がある。設計等委託料200万円は認めるが、工事請負費は認められない」との理由で、歳出では本庁舎玄関及び外壁改修に係る工事請負費4500万円を減額、歳入では財政調整基金繰入金を4500万円減額し、関連の債務負担行為を削除する内容の修正案が委員から提出され、全員一致で修正のとおり可決しました。

厚生委員会

当委員会では審査した案件は、7月臨時会では議案1件、また、9月定例会では議案12件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は採択) 主な内容は次のとおりです。

《7月臨時会》

◎平成26年度総社市一般会計補正予算(第3号)(議案

第50号)

《補正予算の内容》

- ・吉備線LRT化基本計画案作成業務委託料

平成21年度に250万円をかけて基本構想を作った経緯、活用状況はどうか。

平成14年にJRR西日本の吉備線LRT化構想が発表され危機感があった。作成後の活用は十分にできていない。

◎以上のような質疑・答弁がなされた後、大熊委員から「作成済の基本構想について、議会の合意形成がないままに再度の調査委託をすることは許されない」との反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数で原案を可決すべきであると決定しました。

《9月定例会》

◎平成26年度総社市一般会計補正予算(第4号)(議案第59号)

《補正予算の主な内容》

- ・一般廃棄物最終処分場建設造成工事費の減額、私立保

産業水道委員会

《9月定例会》

育所の増築に係る施設整備事業補助金など

一般廃棄物最終処分場の工事費7億8000万円が減額されている。理由は何か。

現処分場の横に新処分場を建設予定で、残土を新処分場の覆土として活用する置き場等を確保するため、整地場所を考えていく中で工程が延びたことが一因である。

◎総社市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(議案第55号)

児童保育の利用者が50人以下と規定されているが、超える場合はどう対応するのか。

児童保育を新設する場合は、学校施設を活用したり放課後子ども教室と一体的運営をしたりする旨の国の指針がある。利用者が増えた場合は、そのように検討したい。

当委員会では審査した案件は、議案8件であり、全て原案どおり可決しました。

◎総社市国民宿舎条例の一部改正(議案第58号)

顧客のニーズ等により、研修室等の使用時間帯に新たな区分を定めるため、関係条文の整備を行うとするものです。

◎平成26年度総社市一般会計補正予算(第4号)(議案第59号)

《補正予算の主な内容》

- ・民有地内に布設されている秦地区の畑地かんがい配水管移設工事請負費の増額

◎平成26年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算(第1号)(議案第61号)

《補正予算の主な内容》

- ・サンロード吉備路で使用する食器洗浄機等の修繕料の増額

◎平成25年度総社市国民宿舎事業費特別会計歳入歳出決

算認定(認定第7号)

営業戦略会議等が行われているのか。

年2回行っている。お客様のニーズに答えられるよう、できることから始めたい。

■一般会計決算審査特別委員会産業水道分科会

◎平成25年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)

きびじつるの里の今後はどうか。見直しについての協議はあるのか。

鶴を観光に活かし、11月8日の鶴の日に向け、鶴を飛ばす訓練を始める予定である。

建設消防委員会

《9月定例会》

◎平成26年度総社市一般会計補正予算(第4号)(議案第59号)

《補正予算の主な内容》

- ・井手赤浜本線ほか6件の道路改良工事費など

■一般会計決算審査特別委員



建設消防委員会では新総社大橋建設現場を視察

会建設消防分科会

◎平成25年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)

土木担当員の小規模工事に伴う限度額はいくらか。

工事1件につき、人件費と原材料費のそれぞれの経費を20万円以下としている。

市営住宅の修繕費用が約2150万円と多額である。修繕費用の推移はどうか。

対前年比で約200万円の増額となっている。主な理由は諸上住宅ガス供給施設の修繕である。市営住宅の老朽化が進み、今後も修繕費用は増加すると予測される。

議会運営委員会視察

8月11日から二日間、四日市市・鳥羽市の両市議会を視察しました。

《四日市市議会》

- ・議会モニター制度（ボランティアに議会の傍聴をお願いし、意見等を文書にして提出してもらう）：市民との意見の双方向化は欠かせない。今後、様々な方法を検討していきたい。
- ・本会議終了後に、議長が総括する記者会見を実施：検討したが、現時点では必要性を感じられない。

《鳥羽市議会》

- ・委員会のインターネット中継：本市では本会議の中継のみを行っている。委員会の中継は設備面・議事面での障壁をクリアしなければならぬ。
- ・タブレット端末を活用した一般質問：9月議会では岡崎議員が試行。現在、本市

の議場設備ではモニターへの拡大転送が困難な状況。視察事項は今後も検討を続け、本市議会でも議会の「見える化」を進めていきたい。

（村木理英）

総務文教委員会視察

7月16日から二日間、久留米市で給食共同調理場、武雄市で図書館を視察しました。

久留米市の給食共同調理場は、平成16年に議会の提言を受け、翌年から小・中学校の児童等へアンケートを行い、平成19年からPFI方式の導入調査を実施。2年間の工期



久留米市給食共同調理場を視察する総務文教委員

により平成22年9月に竣工しました。工事費は約16億円です。献立の地元野菜等の使用率が約70%と高く、米飯は週3回です。食物アレルギーへの対応は、専用調理室にて7品目除去食を調理し、対象生徒の氏名を明記した専用容器に入れて、本人に手渡しをしています。

視察を行った事項は、今後の本市給食調理場整備において参考としていきます。

（小川進二）

厚生委員会視察

7月28日から三日間、佐賀市ほか3市町を視察しました。

佐賀市の「災害時要援護者支援制度」では、要援護者と支援員の名簿が作成されており、自主防災組織や社協、民生委員の同意を得て名簿を共有している。武雄市の「食育とがん検診」では、所管を食育課に分かりやすく一本化。さらに、がん検診率向上課を



神崎小学校では学童保育を視察

置いている。神埼市の「放課後児童クラブ」は、教育委員会社会教育課が担当、施設管理まで所管している。須恵町では、「認定こども園」による幼保一元化を平成12年から研究、幼稚園教諭と保育士の給与表が同じであったため職員の人事交流もスムーズであった。福祉（子ども）、教育の窓口の縦割りがなく、窓口を一本化しており、その必要性は自明の理であった。

（岡崎亨二）

建設消防委員会視察

7月15日から二日間、「災

害に強い町づくり」をテーマ

に福島県双葉郡広野町、いわき市の2自治体の行政視察を行った。ここでは、広野駅東側開発整備事業を報告する。

広野駅東側に位置する地区は津波による壊滅的な被害を受け、沿岸部の集落や防潮堤、県道が大きく破壊された。当該地区は一部移転するものの、ほとんどの住家が現在位置での再建を希望している。

この事業では、防災緑地を整備し津波の軽減を図ることにより、今次津波における浸水地区での現地再建が可能となり、防災集団移転の規模を



復旧が進められる広野町

縮減することに寄与した。

今回の視察を終えて、震災前から築いた地域住民の人間関係をハード面から維持、継続できるようにサポートしていくことも「災害に強い町づくり」の一つだと感じた。

（萱野哲也）

議会だより編集委員会

『読んでもらえる議会だより』作成のため、編集委員会では紙面づくり講習会に参加し、議会だよりの編集に反映させていきます。

講習会では、「見出しが重要」「読者の目線に立って広報紙を作る」「くについてという見出しは使うな」ということです。

本市の議会だよりでは、議員の一般質問の記事の見出しに「くについて」という表現を多用していましたが、今回からやめました。

今号の議会だよりは、特に『見出し』に注目していただ



魅力ある『議会広報紙』作成のため、編集委員が講習を受けた

きたいと思えます。

議会だよりは、議会活動と市政運営を知ってもらうための重要な資料です。今後、読者目線の編集を心がけていきます。

（三宅啓介）

産業水道委員会
商工会議所と意見交換

8月27日、「地域経済の発展について」をテーマに商工会議所中小企業振興特別委員会と意見交換を行いました。

主な内容は次の2点です。
《総社市における公共交通の体系》

特別委員会委員から「LR

T化の経費、ランニングコストを心配している。商工会議所として問題提起したが、意見はまとまっていなかった。また、「岡山市へのストロー現象も懸念される。施策をしっかりと立てていくことが重要だ」「定住化政策とリンクしないとLRのメリットは向上しない。位置づけ、吉備線と伯備線との差別化を考えながら計画をしていく必要がある」などの御意見がありました。

《人口減少及び労働力確保への対応》

「市内で働き手を探すことが難しくなっている。パートが足りない」、また、「年配の人に手伝っていただいて、働き手を確保する方策はどうか。健康づくりの面でも良い」などの御意見がありました。

以上の御意見を踏まえ、9月議会では、議員の一般質問にも活かされたところです。

（村木理英）

議会フォーラム

入場
無料

申込
不要

市議会では、議会や議員の責務と役割、その定数や報酬について考える『議会フォーラム』を開催します。
皆さんのご出席をお待ちしています。

11月8日 土 14:00
16:30

会場：山手公民館(多目的ホール)

駐車場に限りがあります。
できるだけ乗り合いでお越しください。
(定員350名)



基調講演

講師・コーディネーター

「住民自治の根幹としての議会」を作動させる

江藤 俊昭 氏

山梨学院大学 法学部政治行政学科 教授

パネルディスカッション

テーマ…議会・議員の責務と役割や
その議員定数・報酬を考える

パネリスト…総社市議会議員

笠原 武士・頓宮 美津子・小西 利一・萱野 哲也

問い合わせ 議会事務局 Tel.92-8332

編集後記

秋晴れの日が続く季節になりました。

今夏の台風や異常気象がもたらした、いくつもの集中豪雨において、亡くなられた全国の皆様にご冥福をお祈りし、今なお避難されている多数の方々に、お見舞いを申し上げます。

我が総社市においては、あまり被害もなく、とても有り難いことでしたが、今後発生する想定外の災害に対する危機管理体制の構築、危険箇所の洗い直しが早急に必要だと思われまふ。市民の方々からの通報・点検要望にも応えていかなくてはと思います。

(小川進一)

◆編集委員会のメンバーは次のとおりです。

委員長	村木 理英
副委員長	三宅 啓介
委員	萱野 哲也
委員	岡崎 亨一
委員	小川 進一